

アスリートの技間近に

110メートルハードル山陰記録保持者・西沢さん

千代南中 バトンパスなど伝授

陸上競技の魅力を知ってもらおうと、鳥取市用瀬町別府の千代南中で9日、110メートルハードルの山陰記録を持つ西沢真徳さん(34)を講師に招いた特別授業が開かれた。近隣の児童生徒約70人がトップアスリートの指導を受け、リレーのバトンパスを練習した。

西沢さんは同競技の選手として、国体で優勝、全国高校総体で準優勝した。特別授業を通して児童生徒に交流を深めてもらおうと、同校と、同校区にある用瀬小と佐治小の児童生徒が参加した。

西沢さんは児童生徒にバトンを受け渡す際のことを伝授。指導後には、両小学校の児童によるリレー大会も開かれた。座学ではアスリートとしての経験をもとに、練習などの努力が自信につながることや、悔しさが自分を高める糧になるこ



ハードルの跳び方を実演する西沢さん

とを伝えた。佐治小6年の金田和子さん(12)は「西沢さんから失敗をプラスに変えることが

大切だと教わった。私も野球の練習に生かしたい」と話した。(佐々木駿)

ふるさとフイード